

<b>イミダクロプリド水和剤</b> <b>アドマイヤー顆粒水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ、バイエル、ホクサン  <b>原体メーカー：</b> バイエル
<b>成分：</b> イミダクロプリド〔ネオニコチノイド系〕……………50.0%	<b>性状：</b> 褐色水和性細粒 <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 既存の有機リン系、カーバメート系、合成ピレスロイド系等と異なる殺虫作用を示す。
- 致死濃度以下でも制虫的に作用するため、圃場においては極めて長い残効性を示す。
- 殺虫スペクトラムはカメムシ目（ウンカ類、アブラムシ類など）、コウチュウ目（イネドロオウムシ、イネミズゾウムシ）、アザミウマ目（アザミウマ類）及び一部のチョウ目害虫までに及ぶ。
- 浸透移行性に優れ、ハモグリガ、チャノキイロアザミウマ、アブラムシ類、コナジラミ類などに対して優れた防除効果を発揮する。
- 顆粒状の製剤なので、粉立ちも少なく非常に溶けやすい。
- 高希釈倍率での使用のため作物の薬液汚れが少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 高濃度製剤なので希釈倍数に注意する。
- アブラムシ類など抵抗性のつきやすい害虫は、他剤とのローテーションによる防除を行う。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 適用作物（稲、すもも、ネクタリン）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- マルハナバチに影響があるので、本剤使用後は他の方法（人工授粉、植物ホルモンなど）で授粉作業をする。
- 甲殻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意する。
- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含 む農薬の総使用回数	
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	500 倍	育苗箱 (30×60× 3cm, 使 用土壌約5 ℓ) 1 箱当 り 0.5 ℓ	移植2 日 前～移植 当日	1 回	灌注	3 回以内 (移植時までの 処理は1 回以 内, 本田での散 布は2 回以内)	
	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	500～ 1000 倍						
小 麦	アブラムシ類	15000 倍	60～ 150 ℓ	14 日 前 まで	2 回 以 内	散布   無人航空機 による散布	3 回以内 (種子粉衣は1 回以内, 散布 は2 回以内)	
とうもろこし		10000～ 15000 倍	100～ 300 ℓ				3 回以内 (種子粉衣は1 回以内, は種 後は2 回以内)	
		160 倍	1.6～3.2 ℓ					
		80 倍	1.6 ℓ					
かんきつ	アブラムシ類 ミカンハモグリガ ケシキスイ類 ゴマダラカミキリ成虫 コアオハナムグリ コナカイガラムシ類 アカマルカイガラムシ コナジラミ類 アザミウマ類 カメムシ類 ミカンキジラミ	5000～ 10000 倍	200～ 700 ℓ	14 日 前 まで	3 回 以 内		3 回以内	
	りんご	カメムシ類 リンゴワタムシ						5000 倍
アブラムシ類		5000～ 15000 倍		21 日 前 まで				
うめもも		アブラムシ類			10000 倍	3 日 前 まで		
なし	コナカイガラムシ類	5000 倍		14 日 前 まで				
	アブラムシ類 カメムシ類	5000～ 10000 倍			21 日 前 まで			
もも	アブラムシ類			7 日 前 まで		3 回 以 内	3 回以内	
ネクタリン	モモハモグリガ カメムシ類	5000 倍			21 日 前 まで			
	コナカイガラムシ類			5000 倍		7 日 前 まで		
ぶどう	アザミウマ類 フタテンヒメヨコバイ	5000～ 10000 倍		14 日 前 まで	2 回 以 内		2 回以内	
	コナカイガラムシ類	5000 倍						
かき	アザミウマ類 カメムシ類	5000～ 10000 倍		7 日 前 まで	2 回 以 内	2 回以内		
	アザミウマ類	10000 倍						
マンゴー	アザミウマ類	10000 倍		14 日 前 まで	2 回 以 内	2 回以内		
パッションフルーツ	コナカイガラムシ類			7 日 前 まで				
アテモヤ	コナカイガラムシ類							

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含 む農薬の総使用回数
なす	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	5000～ 10000倍	100～ 300 ℓ	前日まで	2回 以内	散布	3回以内 (育苗期の株元 散布及び定植 時の土壌混和 は合計1回以 内, 散布及び 常温煙霧は合 計2回以内)
ピーマン とうがらし類	アブラムシ類 アザミウマ類						3回以内 (育苗期の株元 散布及び定植 時の土壌混和 は合計1回以 内, 散布及び 常温煙霧は合 計2回以内)
トマ ト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類						4回以内 (育苗期の株元 散布及び定植 時の土壌混和 は合計1回以 内, 散布は2 回以内)
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類			4回以内 (育苗期の株元 散布及び定植 時の土壌混和 は合計1回以 内, 散布及び 常温煙霧は合 計3回以内)			
すいか	アブラムシ類 アザミウマ類	10000倍		3日前 まで	3回 以内		4回以内 (定植時の土壌 混和は1回以 内, 散布は3 回以内)
ズッキーニ	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類			前日まで			4回以内 (育苗期の株元 散布及び定植 時の土壌混和 は合計1回以 内, 散布は3 回以内)
メロン	コナジラミ類 アブラムシ類 アザミウマ類			5000～ 10000倍			3日前 まで
うり類 (漬物用)	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	10000倍		7日前 まで	2回 以内		3回以内
にがうり	アザミウマ類			前日まで			2回以内 (定植時の土 壌混和は1回 以内)
かぼちゃ	アブラムシ類						3回以内 (定植時の土 壌混和は1回 以内, 散布は2 回以内)
なばな							2回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
はくさい	アブラムシ類	10000倍	100～ 300 ℓ	7日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (定植時までの 処理は1回以 内, 散布は2 回以内)	
キャベツ				21日前 まで			3回以内 (育苗期の灌注 及び定植時の 土壌混和は合 計1回以内, 散 布は2回以内)	
かぶ							3回以内 (は種時の土壌 混和は1回以 内, 散布は2 回以内)	
ばれいしょ	アブラムシ類 オオニジュウヤホシテントウ	2500倍	25 ℓ	14日前 まで		無人航空機 による散布	3回以内 (植付時の土壌 混和は1回以 内, 植付後は 2回以内)	
		5000～ 15000倍	100～ 300 ℓ					
		160倍	1.6～ 3.2 ℓ					
		80倍	1.6 ℓ					
さといも	アブラムシ類	10000倍	100～ 300 ℓ	前日まで		散布	3回以内 (植付前の土 壌混和は1回 以内, 散布は 2回以内)	
さといも (葉柄)				7日前 まで				
かんしょ				14日前 まで				3回以内 (植付時の土 壌混和は1回 以内, 散布は 2回以内)
やまのいも								
てんさい	カメノコハムシ アブラムシ類 テンサイモグリハナバエ	300倍	ペーパー ポット1冊 当り1 ℓ (3 ℓ /m <sup>2</sup> )	定植時	1回	灌注	3回以内 (種子への処理 又は灌注は1 回以内, 散布 は2回以内)	
	テンサイトビハムシ	300～ 500倍						
		アブラムシ類	5000倍	100～ 300 ℓ	21日前 まで	2回 以内		散布

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含 む農薬の総使用回数
みょうが (花穂)	カイガラムシ類	10000 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	2 回 以内	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する	2 回以内
みょうが (茎葉)				みょうが (花穂) の収穫前 日まで 但し、花 穂を収穫 しない場 合にあつ ては開 花期終了 まで		散布	
ね      ぎ	アザミウマ類	5000 倍		14 日前 まで	1 回		灌注
		500 倍	セル成型育 苗トレイ 1 箱又はペー パーポット 1 冊 (30× 60cm, 使 用土壌約 1.5～4 ℓ ) 当り 0.5 ℓ	2 回以内 (定植時ま での処理は 1 回 以内)			
5000～ 10000 倍				14 日前 まで	2 回 以内	散布	3 回以内 (は種時の土 壌混和は 1 回 以内、散布は 2 回以内)
すいぜんじな		アブラムシ類	10000 倍	100 ～ 300 ℓ			
にんじん	3 日前 まで				2 回 以内		
みしまさいこ						30 日前 まで	3 回 以内
豆      類 (種実)	80 ～ 300 ℓ			2 回 以内	3 回以内 (定植時及び は種時の土 壌混和は合計 1 回以内、散布 は 2 回以内)		
豆      類 (未成熟、 但し、未成熟 そらまめを 除く)	100 ～ 300 ℓ					前日まで	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む 農薬の総使用回数		
未成熟そらまめ	アブラムシ類	10000 倍	100 ～ 300 ℓ	14 日前 まで	2 回 以内	散布	3 回以内 (定植時及び は種時の土壌 混和は合計 1 回以内)		
レ タ ス				3 日前 まで			3 回以内 (育苗期の処理 は 1 回以内, 散 布は 2 回以内)		
ほうれんそう				前日まで			3 回以内 (は種時の土 壌混和は 1 回 以内, 散布は 2 回以内)		
み つ ば				収穫 7 日前 まで 但し, 伏せ 込み栽培は 伏せ込み前 まで	2 回 以内		2 回以内		
食用ゆり		5000 倍		前日まで				3 回 以内	
こんにゃく		10000 倍		21 日前 まで				2 回 以内	
アスパラガス		アザミウマ類		5000 倍	前日まで		1 回		2 回以内
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ	5000 ～ 10000 倍	200 ～ 400 ℓ	摘採 7 日 前まで	1 回	1 回			
	ツマグロアオカスミカメ	5000 倍							100 ～ 300 ℓ
き く	アザミウマ類		200 ～ 700 ℓ	4 回 以内	5 回以内				
げっ ぎ つ	ミカンキジラミ					4 回以内			

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
乾田直播水稲	ウンカ類	種もみ 4 ～ 8 kg 当り 30 ～ 40 g (40g/10a まで)	は種前	1 回	種子塗沫 (未催芽粉)	3 回以内 (は種時までの処理 は 1 回以内, 本田で の散布は 2 回以内)
湛水直播水稲		種もみ 3 kg 当り 30 ～ 40 g (40g/10a まで)			過酸化カルシウム 剤との同時湿粉衣	